

**対馬暖流の流量は例年より少なめで、
岩内以南では沿岸に張り付くような流路となっています。
表層水温は、晴天と高い気温の影響により、
平年に比べて2°C以上高くなっています。**

2019年6月に実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

津軽海峡から岩内沖での対馬暖流の北上流量は0.4~0.9Sv (1Sv=10⁶m³/s) 程度と例年より少なめです(図1c)。流路は岩内以南では沿岸に張り付くような流路を取っており、石狩以北では沖合を通過する流路を取っています。流量が少ないためか、後述の表層水温とは異なり、100深水温は全域で平年並みかやや低めです。

表層水温は、石狩以北では平年よりも2°C以上高くなっています(図1a、b)。これは5~6月に続いた晴天と高い気温の影響を受けたためと考えられます。一方で岩内以南は、ほぼ平年並みの水温ですが、これは岩内以南の観測が一時的に水温の下がった5月末に集中したためと考えられます。衛星水温などによれば、岩内以南でも、6月上旬には表層水温は平年よりも高くなっていました(<https://oceancolor.gsfc.nasa.gov/cgi/l3>など)。

余市前浜水温は5月下旬までは「やや高い」から「かなり高い」でしたが、6月上旬には「非常に高い」まで上昇しました(図2)。

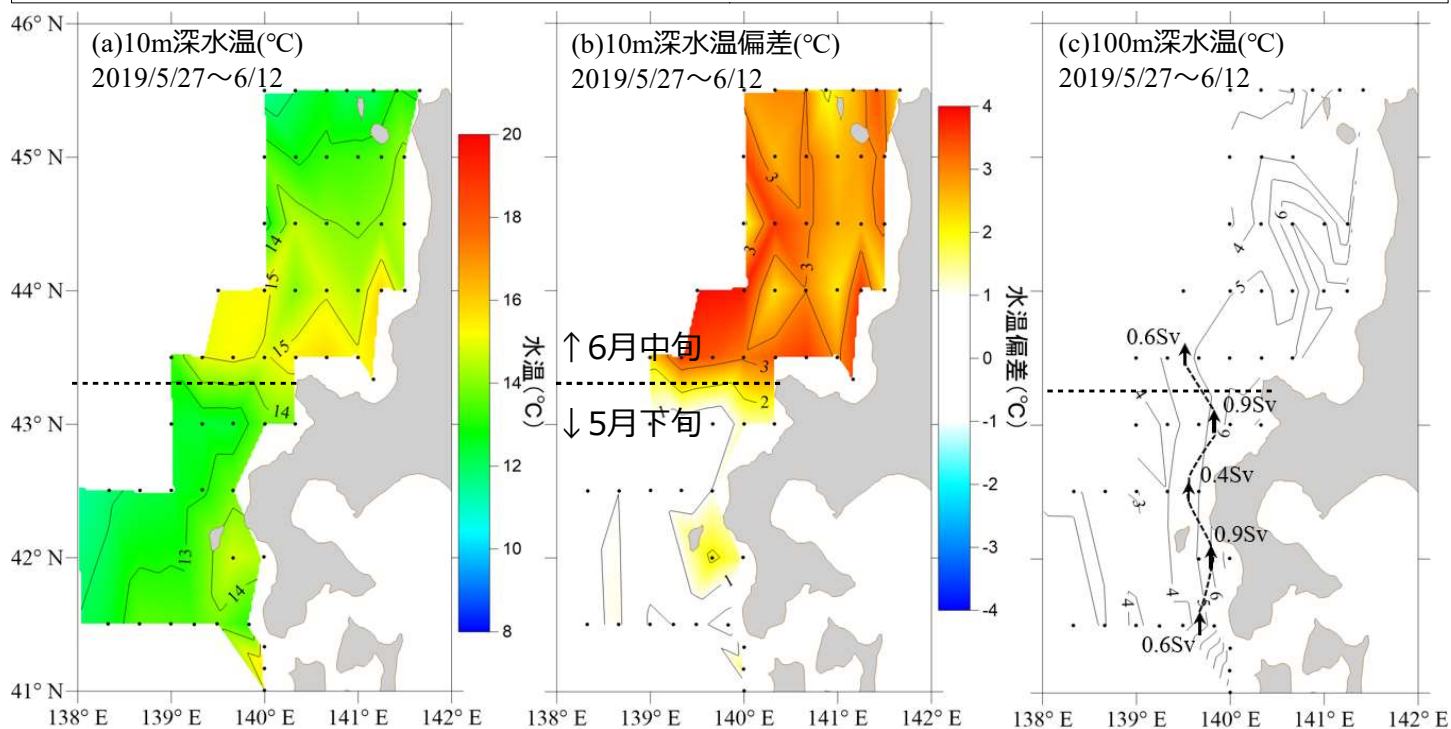


図1 2019年6月における (a) 10m層水温、(b) 10m層水温偏差(20年平均値(1989~2018年)からの差)の分布、(c) 100m層水温分布と対馬暖流の流路(500db基準の地衡流より) (1Sv=10⁶m³/s)

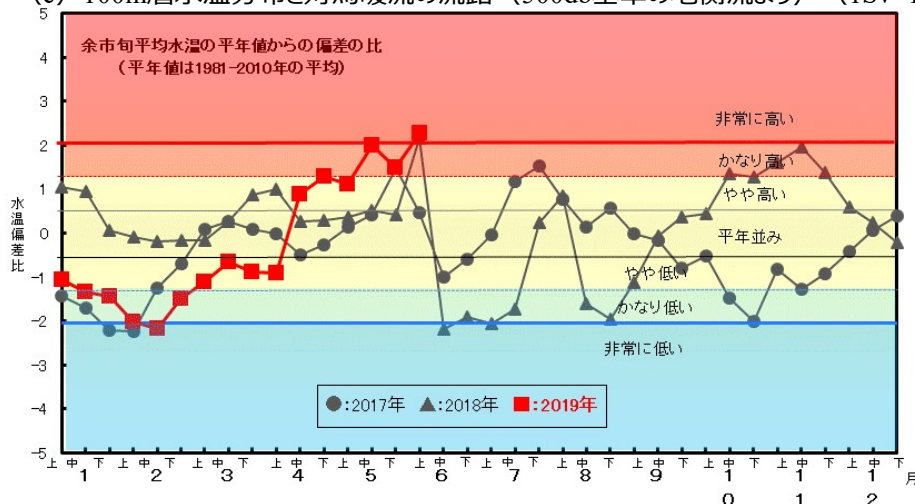


図2 余市前浜旬別水温の平年偏差比

最新版は
<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyuu/suion/index.html>
もしくは「余市前浜水温」で検索